



設立協力団体

兵庫県

神戸市

ライオンズクラブ国際協会
335-A地区

ライオンズクラブ国際協会
335-D地区

兵庫県眼科医会

献眼連絡先

0120-69-1010

〈年中無休・24時間受付〉

公益財団法人 兵庫アイバンク

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2 神戸大学医学部付属病院内
TEL 078-382-6046 FAX 078-382-6723
E-mail: info@hyogo-eyebank.or.jp



公益財団法人
兵庫アイバンクだより

クラリット

25

2021年度

クワ-リ-ット



目次

1	ごあいさつ	
	公益財団法人兵庫アイバンク理事長	片上千加子 …… 1
	兵庫県眼科医会会長	平松 邦夫 …… 2
	ライオンズクラブ国際協会335-A地区ガバナー	畑山 裕子 …… 3
	ライオンズクラブ国際協会335-D地区ガバナー	橋崎 良治 …… 4
2	角膜移植とは	5
3	ご遺族からのお言葉	8
4	事務局だより	10
5	お知らせ	11
6	2020年度 事業報告	
	2020年度 統計	14
	献眼者	14
	啓発活動・講演会・講習会・学会発表	14
7	賛助会員について	18
8	2020年度 寄附者	19
9	登録について	22
10	兵庫アイバンク顧問・理事・評議員	24



兵庫アイバンクの 発展に向けて

公益財団法人兵庫アイバンク 理事長
兵庫県眼科医会 監事

片上千加子

角膜移植を受けた患者様から喜びと感謝の気持ちを拝聴するたびに、日常診療からは窺い知れない思いがしみじみと込められていて、思わず胸がいっぱいになります。

女性Mさんは、「角膜移植を待つ間、私に角膜を提供して下さいの方は今はどこかに生きておられるのだと思うと、手術を早く、と願うことはできませんでした。」と手記に綴っておられました。角膜移植待機患者さんの多くが一日も早い手術を切望される中、こんな風に考える方がおられるとは、驚きでもありました。

幼少時から視力が悪いまま過ごされてきた女性Tさんも印象深い患者さんのお一人です。角膜移植の術後、「病院の洗面所の鏡を見て私の顔がこんな顔だったのを初めて知りました」とおっしゃった言葉に、ご自身の顔も見えなかった長い年月を思い、胸が詰まりました。

一方、角膜提供をされたご遺族の方からは「『生命のバトンタッチ』によりもっと人間らしい優しい社会を作れることを多くの人に知っていただきたい」と、辛い思いをされながらご決断下さったにもかかわらず、心に響くメッセージをいただき、本当に頭が下がります。

角膜移植を受けられた方の喜びと感謝のお気持ちと、角膜をご提供下さったご本人とご遺族の方の思いを双方に伝える橋渡しをさせていただき、この善意の輪が広がるよう全力を尽くします。



兵庫県眼科医会より

兵庫県眼科医会 会長
(公財)兵庫アイバンク 副理事長

平松 邦夫

兵庫アイバンクは兵庫県と神戸市と兵庫県内の全てのライオンズクラブの皆様のご篤志で設立され運営されています。角膜疾患で失明された方の視力を取り戻すには、今もなお角膜移植しかほとんど方法がありません。iPS細胞による角膜移植の研究と臨床応用はなされてはいるものの、現在ではまだほとんどの角膜疾患の患者様には光が届きません。

人生の平均寿命は80歳から90歳に近づいてきていますが、それでもいつかは寿命はつきます。その時に、「もうしばらく自分の目にもものを見させておいてやろう。」と思われれば、人生の終焉で献眼をしていただきますと、貴方の目は他のお人の身体をお借りして、この世で物を見続けることが出来るのです。人生の終焉でこれからもこの目は物を見続けることが出来るのだと思うことは、心の安らぎになりはしないでしょうか。じっくりとお考えいただきたいものです。



ライオンズクラブ国際協会 335-A地区より

ライオンズクラブ国際協会335-A地区
地区ガバナー L.畑山 裕子

ライオンズクラブ国際協会は、メルビン・ジョーンズにより1917年アメリカ・シカゴで誕生し、現在世界200余の国に138万人の会員を有する世界的な奉仕団体です。335-A地区は兵庫県東部を活動地域にしており、69クラブ1,784名の会員が所属しております。

1925年の国際大会において、ヘレン・ケラー女史が「ライオンズよ、盲人のために暗闇と闘う騎士になって下さい」と会員に訴えました。それ以来ライオンズクラブは、河川盲目症撲滅キャンペーン、白杖の発案など視覚障がい者支援に力を注いで来ました。

ライオンズクラブおける献眼運動は、1957年から始まり「ライオンは死して目を残す」の言葉のもと、今日まで全国のライオンズクラブの多くで推進されてきました。「公益財団法人兵庫アイバンク」についても、協力団体として設立時よりかかわった経緯もあり、今期も地区として「献眼登録の呼びかけ」に、尽力したいと思っております。



ライオンズクラブ国際協会 335-D地区より

ライオンズクラブ国際協会335-D地区
地区ガバナー L.橋崎 良治

兵庫アイバンク様の尊いお働きに心より敬意を表させていただきます。

角膜疾患で視力を失われた方々に献眼された方々から角膜を移植する働きは光を求めておられる方々にとっての唯一の治療法で有るとお聞きしております。

1925年に開催されましたライオンズクラブ国際大会においてヘレン・ケラー女史は、「**暗闇と闘う盲人のための騎士になって下さい**」と呼びかけられました。

ライオンズクラブ国際協会はヘレン・ケラー女史の強烈な思いに心を寄せて立ち上がりました。それ以来96年にわたり角膜移植を待っている方々のお力になれるようにと努力を続けています。

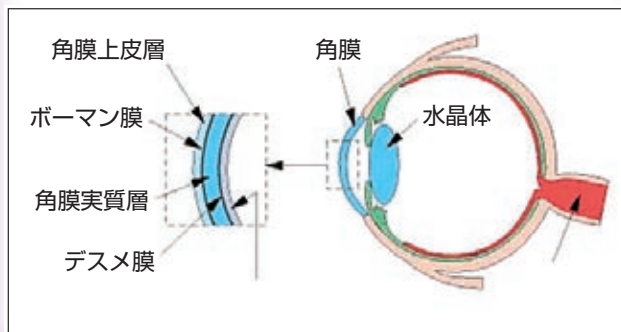
全国的には献眼をして頂ける方々が減少しております。昨今、セミナーや研修会を開いて、まず角膜移植の大切さを理解しひとりひとりが提供者のひとりになれることを知る啓蒙活動に力を入れて行きたいと思っております。

兵庫アイバンク様の活動が多くの方々にご理解とご協力を頂き更に尊い運動が広がりますことを願います。

角膜移植とは？

角膜の働き

角膜は透明な5層構造の膜であり、眼球に光を取り入れる入口としての役割と水晶体とともにピント調節をする役割を持っています。病気やけがにより角膜が濁ってしまい角膜本来の透明性を失ってしまうと眼の中に光を取り入れることが出来なくなってしまいます。このような場合に角膜移植が必要となります。



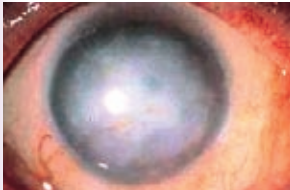
適応疾患

水疱性角膜症



角膜の裏側には内皮細胞という角膜の水分を汲みだすポンプの役目をする細胞層がありますが、この細胞の機能が低下すると角膜は水ぶくれ状態になりすりガラスのように濁ってしまいます。この状態を水疱性角膜症といいます。加齢でも起こりますが、眼の手術（白内障・緑内障手術など）により起こる事もあります。

角膜白斑



幼少期にはしかやトラコーマなどで炎症が起こり、角膜が濁ってしまった場合、または、角膜ヘルペスの治療後に混濁が残った場合、細菌・真菌感染などで角膜が薄くなったり混濁が残ったりした場合に角膜移植が必要になります。

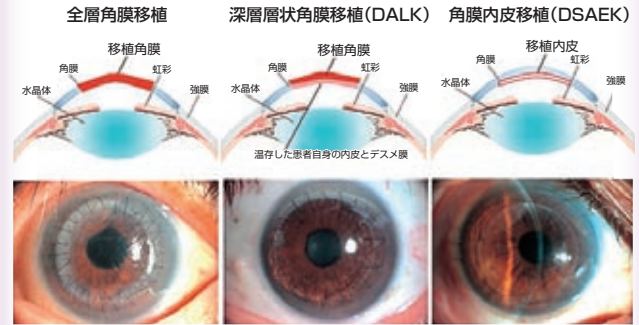
円錐角膜



思春期に好発する角膜変性疾患で角膜中央部が薄くなり、前方に突出します。高度に進行しコンタクトレンズでは矯正視力が十分にでない、突出部に混濁が生じた場合に角膜移植が適応となります。

治療について

角膜移植の種類



全層角膜移植

角膜の混濁が強く内皮細胞も弱っている場合、角膜全層を切除しドナー角膜を移植します。最も基本的な方法で手技も安定しています。

表層層状角膜移植・深層層状角膜移植

内皮細胞の機能が残っている場合、濁った表層部分のみを切除しドナー角膜を移植します。内皮型拒絶反応の心配がありません。やや手技が難しく、手術中全層角膜移植に変更する場合があります。

角膜内皮移植

水疱性角膜症では内皮細胞のみが必要であり、角膜周辺部に開けた数ミリの切開創から内側の内皮層のみを取り除き、ドナー角膜を移植します。この数年前に開発された方法で角膜移植後の高度の乱視を防止でき、手術後早期から良好な視力が得られることがあります。

父の願い

林 和枝(娘)

父は戦争経験者でした。戦地では大変な苦勞をし復員しました。戦地での体験が根底にあり戦友が何人も亡くなり、父も撃たれ一年近く入院をする大けがを負いながら助かった命、死んだら誰かを助けたいと強い気持ちを持っていました。「死んだら献眼する。目の見えない人が少しでも見えるようになればいい。」と何十年も前からアイバンクに登録しているからと口にしていました。常に冷蔵庫には登録カードが貼ってありました。

令和2年12月、99歳とはいえ父との別れが来るとは思ってもいませんでした。父の願いの献眼、一度は電話したのですが決断がつかずお断りをしました。電話を切った後、父が前から言い続けていた献眼、父の望みを叶えたほうが父は喜ぶのではないだろうかと思い直し献眼を申し出ました。兵庫アイバンクの渡邊さんに「年齢は関係ないです。」と言って頂きお願いしました。

後に父が折に触れ私宛に手紙を書いていたのでしょう。20通以上未開封のままありました。どの手紙にも、自分にもしもの時があれば必ずアイバンクに電話して献眼するようにと書いてあり、電話番号が書いてありました。「良かった。」もしあの時断っていたら父に申し訳ないことをするところでした。

数日後2人の方に角膜移植ができたと言われ渡邊さんから連絡を

頂き父の強い願いが役に立てて父は喜んでいることでしょう。

27年前母が亡くなり、昔人間で家の事は全くできなかったのですが、父に買い物仕方(かごを持ってレジに並ぶ)とか、洗濯等々家事を練習した事を先日の事のように思い出します。初めてレンジでチンした時の驚いた様子は今も鮮明に残っています。99歳まで自分の事は自分でし、誰にも迷惑をかけず、そして死んでからも人様のお役に立つ献眼をして素晴らしい父でした。娘が言うのもおかしいですが自慢の父でした。



事務局長兼コーディネーター

渡邊 和誉



アイバンク事業について日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染が拡大、拡散しており、移植医療だけではなく医療全体に相当なダメージを受けています。

日常生活においても切迫した状況である中、移植医療に寄与して下さる尊いご意思を無にしないためにも提供時に対応して頂く医療機関の先生方を中心として活動が滞らないように努力し活動しております。我々アイバンクの活動の根源は、移植医療に対するご理解があり、次の医療に繋げてもらいたいとされる方への「いのちのリレー」をさせていただく事にあります。新たな医療体制の確立や感染防御のための準備など費用や労力を費やさなければならない点も多くありますが何とかこの大きな試練を皆様方と乗り越えていきたいと考えます。

また、2021年度より新たなコーディネーターを増員し、アイバンク活動をより元気に活動的に展開したいと考えます。一人でも多くの方の幸せと光を取り戻すことのできる感動をお届けするため、スタッフ一同、今後も鋭意努力して参ります。今後とも引き続き皆様方のご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

支援型自販機設置についてのお願い

当法人支援型自販機が現在3台稼働しています。

第1号機：真星病院（神戸市北区）

第2号機：溝上眼科（洲本市）

第3号機：甲南医療センター
（神戸市東灘区）

関係各位の皆様がこの支援型自販機にご賛同いただけましたことに心より感謝申し上げます。

この支援型自動販売機の大きな特徴は、兵庫県のイメージキャラクター「はばタン」と移植医療推進のグリーンリボンとのコラボレーションがなされ、「さくら」の花がイメージされたデザインになっています。

角膜移植によって美しい「さくら」が見えるようになって欲しいという思いが描かれています。

売上の一部が移植医療推進のための活動に寄与されます。

支援型自動販売機の設置を今後広めて参りたいと思いますのでお気軽にご連絡頂ければ幸いです。

ご用命は、兵庫アイバンクにご連絡ください。

TEL：078-382-6046

(9:00～17:00)

E-mail：info@hyogo-eyebank.or.jp



1号機



2号機



3号機

(公財)兵庫アイバンクにおける COVID-19への対応

献眼対応について

初期情報については、厚生労働省からの通達や（一社）日本移植学会が活用しているスクリーニングなどを着実にを行い、提供対象者だけでなく、ご家族に対して同様の強化問診をさせて頂いています。更には、医療者が介入するうえでご家族が罹患するリスクはゼロではないというインフォームド・コンセントをした上で、対応することとして活動しています。

摘出について

感染制御対策や事前のコロナウィルス感染検査状況の情報共有などを十分に考慮し、摘出対応チームは少人数での対応を原則とし、換気など可能な限り環境整備した上で対応することとしています。医療機関以外でのご提供の際は立ち合いも含めできる限りの環境整備の協力体制をお願いし、活動しています。

医療体制も環境に応じて困難を極めることがあるので、柔軟に対応することも含めて皆様方の提供に対するご意思をできる限り尊重できますよう今後も活動を継続して参ります。

メディカルディレクター会議

構成員：神戸大学眼科 中村教授・長井先生
兵庫医科大学 五味教授・細谷先生
(公財)兵庫アイバンク 片上理事長・渡邊

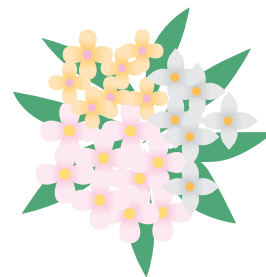
献眼篤志家合同慰霊祭延期のお知らせ

本年度も献眼篤志家合同慰霊祭の開催につきまして何とか実現できますよう縷々検討を重ねて参りましたが、新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言等の措置を考慮し延期させて頂く運びとなりました。皆様のご理解を何卒お願いいたしたく存じます。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症については刻々と状況が変化しており、予断を許さない状況です。実現が可能な状況となりました際には、皆様方と共に献眼いただいた方々並びにご家族様、尊いご遺志によって視力回復された皆様方と共に献眼篤志家合同慰霊祭を挙行できますよう引き続き検討して参る所存です。

今後とも引き続きアイバンク活動にご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

公益財団法人兵庫アイバンク事務局一同



2020年度 事業報告

2020年度統計

	登録者	献眼者	
2020年 4月	6	0	開設以来累計 (2021年3月末)
5月	2	1	
6月	4	2	
7月	2	2	
8月	2	1	登録者 …………… 17,811名
9月	4	2	
10月	4	0	献眼者 …………… 465名
11月	0	1	
12月	3	1	移植件数 …………… 856件
2021年 1月	5	0	
2月	2	1	
3月	3	1	
合計	37	12	

献眼者

2020年4月1日から2021年3月31日までの間に、12名の方よりご提供いただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたしますと共に、深く感謝申し上げます。

啓発活動・講演会・講習会・学会発表

〈公益事業1〉 眼球のあっせん等に関する事業

(1) 献眼する者の募集及び登録に関する事業

- 登録パンフレットを県内医療機関、関係各所へ配布した。
- 登録希望者への登録申し込みの受付、登録カードの発行を行った。
- 定期的に献眼登録者の現況確認と整理を行った。

新規眼球提供登録者数 37人 (昨年度比-59名)

移籍・取消者数 117人 (昨年度比+36名)

(2) 提供される眼球の摘出、検査、保存及びあっせんに関する事業

- 医学的ドナー情報が41件(昨年度比+15件)あり、12名(昨年度比-4名)から提供頂いた。
- 提供眼球に対し医学基準に沿って検査・あっせんを行い、角膜移植術29件(昨年度比-4件)(内:角膜内皮移植術7件(昨年度比-1件)、強膜移植術及び緑内障手術に69件(昨年度比-7件)施行された。

(本年度あっせん施設: 15施設)

あさざり病院・加古川中央市民病院・木村眼科内科病院・
京都府立医科大学病院・慶應義塾大学病院・
神戸市立アイセンター病院・神戸市立西神戸医療センター・
神戸大学医学部附属病院・新長田眼科病院・製鉄記念広畑病院・
ツカザキ病院・東京歯科大学市川総合病院・
東京慈恵医科大学附属病院・東邦大学医療センター大森病院・
兵庫医科大学病院 (50音順)

・移植希望者の募集及び登録

移植を希望する医療機関より移植申し込みを受け、移植待機リストを作成した。

(3) 献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発事業

- 神戸大学医学部附属病院院内コーディネーター連絡会議(月1回開催)に渡邊が参加し、移植医療システムの構築及び啓発活動を行った。
- 神戸市立医療センター中央市民病院臓器提供連携会議に渡邊が参加した。
- 西脇病院院内コーディネーター会議に渡邊が参加した。
- 兵庫県コーディネーター連携会議(月1回開催)に渡邊が参加した。
- アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため京都府立医大アイバンクの指導を渡邊が行った。
- アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため(一財)奈良県アイバンクの指導を渡邊が行った。
- アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため(公財)岡山県アイバンクの指導を渡邊が行った。
- 神戸大学医学部保健学科生対象の移植管理学の講義「移植コ

ーディネーターの実務」を渡邊が行った。(4月13日)

- ・神戸大学医学部医学科・保健学科生対象の現代医療と生命倫理の講義「移植医療と権利について」を渡邊が行った。(5月19日)
- ・兵庫県臓器提供懇話会に渡邊が出席した。(9月11日)
- ・兵庫涙道角膜ドライアイGymに片上理事長・平松副理事長・渡邊が参加した(10月22日)
- ・神戸総合医療専門学校にて「角膜移植とアイバンク」の講義を渡邊が行った。(11月9日)
- ・兵庫県立姫路循環器病センター勉強会に「眼球提供とアイバンク」で渡邊が講演した。
- ・兵庫県院内移植コーディネーターセミナーに渡邊が参加した。(1月23日)
- ・岡山大学眼科学教室の先生に眼球摘出講習会を(公財)岡山県アイバンクと連携で行った(2月9日)
- ・神戸大学医学部附属病院にて脳死下提供シミュレーションに渡邊が参加した。(2月25日)
- ・兵庫涙道角膜ドライアイGymに片上理事長・平松副理事長・渡邊が参加した(3月2日)
- ・兵庫アイバンク×参天製薬勉強会に片上理事長・平松副理事長・渡邊が参加した(3月26日)

〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)機関誌の発行事業

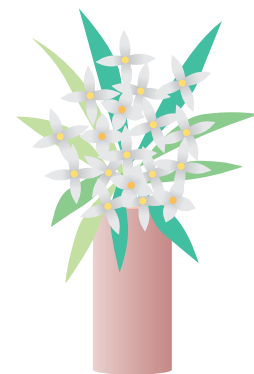
- ・原稿を各所に依頼し、「クラーリヒト」を10月に発刊した。

(2)眼の衛生に関する啓発事業

- ・ライオンズクラブ国際協会335-D地区GST・視聴覚委員会合同セミナー(姫路市:姫路商工会議所)にて平松副理事長が講演(8月20日)
- ・公益財団法人生きがい創造協会にて「目の健康」と題して平松副理事長が講演(9月29日)
- ・兵庫県眼科医会「目の愛護デー」として「角膜移植と兵庫アイバンク」と題して平松副理事長がWeb講演(10月10日)

〈その他〉

- ・定款に従い理事会・評議員会を開催し、企画立案・実施をした。
- ・アイバンク事業の拡大と将来性の担保に伴う活動ならびにコーディネーターの養成を積極的に行った。
- ・神戸アイセンター内にヒト組織専用ラボとして参入した。
- ・京都府立医大アイバンクを筆頭とする近畿圏におけるアイバンク活動の指導並び連携強化について積極的に活動した。
- ・(公財)岡山県アイバンクとの業務連携により移植医療連携が強化された。



(2020年4月1日～2021年3月31日まで)

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは皆様からの善意やご協力によって事業が行われております。

現在、兵庫県内のみで約400人の方が角膜移植を必要としているといわれ、事業の運営を円滑に行うためには皆様方の多大なるご支援が必要です。

皆様方に広くご協力を賜り、一人でも多くの方が一日でも早く社会復帰されることを願っております。

賛助会員にご賛同くださる方は会員規約および入会申込書をお送りさせて頂きまますので、事務局までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

兵庫アイバンク TEL 078-382-6046

賛助年会費

団体会員 1口 10,000円
個人会員 1口 3,000円

兵庫アイバンクでは、広く関係方面からの事業活動へのご支援を頂くための賛助会員制度を設けています。

当アイバンクの事業目的に賛同される企業、団体等の法人・個人の方は、年会費を納入されることにより、賛助会員となります。

お名前が表示について直近のお振込時にご承諾頂いた方を掲載しております。

(敬称略 入会順)

団体

川西ライオンズクラブ	芦屋東ライオンズクラブ
三田ライオンズクラブ	国際ソロプチミスト神戸東
尼崎ライオンズクラブ	阪神道路開発株式会社
尼崎南ライオンズクラブ	大屋ライオンズクラブ
神戸あじさいライオンズクラブ	株式会社外林ウエルネスサポート
宝塚ライオンズクラブ	バイエル薬品株式会社
なかお眼科	明石セントラルライオンズクラブ
南淡ライオンズクラブ	稲美ライオンズクラブ
姫路西ライオンズクラブ	兵庫県眼鏡専門小売協同組合

個人

稲井 信男	土肥 幸	加納 秀樹	川村 素子	藤田 幸三
杉山 治代	長久 昌嗣	森 榮枝	福田 敬子	藤田 尚子
野村 登	高橋 駿治	小西 忠明	丸谷 信雄	古林 昭臣(古林眼科医院)
坂牧弓弦(坂牧眼科)	吉田弘俊(吉田眼科)	小林 登	伊藤 雅子	片岡 敏樹
下田 和子	垣谷 珠美	茂木 久子	神澤 正三	吉澤 恵子
瀬戸 聖子	石橋喜久枝	吉田 英行	朝倉 博美	小林 繁
竹内 静子	武田 邦治	梶 征一郎	島津 種平	山根 知宏
廣辻 逸郎	中西 好嗣	梶谷 郁雄	瀧本 和子	山根 茂彦
廣橋 岳登	沖野 雅一	扇 キヨ子	久斗 数廣	水谷 恭一
上月 昭	中谷 治雄	柳川 芳裕	三子 妙子	春木 陵人
村瀬 昭洋	船岡 康子	田中 睦子	木村 清子	匿名希望の方
小林美奈子	藤田 和子	竹内 清子	清水 路子	
東 久夫	市橋 紀夫	藤田 一	小山田 景子	

眼科・診療所

(敬称略 五十音順)

諸先生方には、ご支援、募金箱設置にご協力をいただき、また、患者様より真心の募金を賜り深く感謝申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。

浅井眼科医院 浅井利通	勝盛眼科 勝盛紀夫	たきの眼科クリニック 森哲	ふかもり眼科 深森史子	村井眼科 小坂敏哉
あさざり病院 眼科 藤原りつ子	金井眼科医院 金井清和	谷眼科医院 谷恵美子	福井クリニック 福井きよか	むらた眼科 村田吉弘
あだち眼科 安達功	神矢眼科 神矢博子	田村眼科 田村泰	藤井眼科 藤井啓誠	毛利眼科 西神戸クリニック 毛利祐介
芦田眼科 蘆田容子	眼科有澤クリニック 有澤忠雄	つじ眼科クリニック 辻孝仁	藤澤眼科医院 藤澤直子	森眼科 森健司
伊賀眼科クリニック 伊賀俊行	眼科クリニック田岡 田岡信明	鳥羽眼科医院 鳥羽幸雄	藤永眼科 藤永博	安井眼科 安井紫都子
いのうえ眼科 井上祐介	眼科多木医院 多木大輔	ないとう眼科 内藤公子	ふじわら眼科 藤原由延	山名眼科医院 山名敬庸
今泉眼科 今泉正徳	菊地眼科 菊地雅史	なかお眼科 中尾寛	古林眼科医院 古林晴臣	山本眼科医院 山本成章
医療法人社団 網島会 厚生病院 網島治子	北垣眼科クリニック 北垣公子	なかにし眼科クリニック 中西頼子	宝青院眼科医院 小田豪	山本眼科 山本正朗
いわき眼科クリニック 岩脇卓司	木下病院 木下香代子	にしがき眼科クリニック 西垣惠行	松葉眼科医院 松葉沙織	吉田眼科 吉田弘俊
うえむら眼科クリニック 植村明嘉	木村眼科医院 木村良平	にいら眼科 波戸クリニック 西村雅史	まつば眼科 松葉真二	リヒトファミリー眼科 橋理人
内蘭眼科医院 内蘭久人	こづち眼科 小植育美	兵庫科眼科 ハートクリニック 植上陽子	松原眼科クリニック 松原令	渡部眼科 渡部暁也
梅津眼科 梅津秀夫	新長田眼科病院 山中弘光	ひらしま眼科 平島崇史	みずさわ眼科 水澤志保子	匿名希望の方
奥村眼科医院 奥村紀子	鈴木眼科医院 鈴木温	平林眼科クリニック 平林宏章	みどりの眼科クリニック 木戸啓文	
長田眼科医院 長田温	せのお眼科医院 妹尾健治	平松眼科医院 平松邦夫	宮代眼科 宮代美樹	
かごたに眼科 籠谷保明	高井眼科 高井勝史	広辻眼科 廣辻徳彦	向井眼科医院 向井章	

寄附者

(2020年4月1日～2021年3月31日まで)

団体・一般

(敬称略 五十音順)

ご支援賜りました方々に厚く御礼申し上げますとともにご芳名を掲載させていただきます。

断セカライオンズクラブ 上西英樹 垣谷珠美 ケーパビゾジヤ心備 繁田知宏
 秋田澄子 後谷知世子 角石りつ子 久保奈香子 島津穰平
 朝山美津子 臼田幸子 柏岡征和 久保正敏 島田昌子
 声優ライオンズクラブ 打田里美 梶谷郁雄 久保八重子 清水谷善英
 東久夫 内橋まゆみ 片岡敏樹 熊野奈緒美 下田和子
 安倍朱美 宇和安子 加藤修子 栗林誠 神内修
 尼崎ライオンズクラブ 大江和子 金森知美 黒岩良夫 杉山治代
 荒井修 大垣節子 大阪林工エススポーツ 黒田久美子 数原多作
 荒井泰史 大島愛 神澤正三 黒田隆夫 瀬戸洋子
 有田悟郎 太田久之 神澤光江 河野医科機械(株) 千寿製菓(株)
 有野勇 太田京子 河合美和 小島雅恵 副島罔義
 井垣啓一 大寺壽生 川市明 古東茂美 園崎仁
 池上由規 大西タツ子 川崎朱美 後藤淳子 高木重介
 池田奈美子 大平歌子 川手明美 小西忠明 高木昭子
 石川善隆 大前朋子 川西ライオンズクラブ 小林キクノ 高島康邦
 石塚喜行 大塚ライオンズクラブ 川村素子 小林登 高野文男
 一陽運動極楽寺支部 岡淳子 関西情報サービス(株) 小林英夫 高橋賢治
 市橋紀夫 岡林治子 高井利夫 小林美奈子 高好民子
 伊藤千里 荻野武 岸本泉 才下正義 瀧川秀樹
 稲美ライオンズクラブ 沖野雅一 岸本智明 坂牧弓弦 瀧本和子
 乾智博 荻野美奈子 岸本靖子 坂本慶子 竹内清子
 井野眞智子 奥村繫夫 北村忠司 坂本博 竹内三郎
 井上明 小倉澄美 木庭友子 佐々木正 竹内慎吾
 井上義章 雄山栄子 絹川一郎 佐藤勉 竹内静子
 井下祥子 小野ひとみ 木南岩男 三光運輸(株) 竹谷トキヨ
 今西正弘 小野光江 木村滋子 代表取締役 三木光治 田中慎子
 今村江津子 小山田景子 木村智子 三田ライオンズクラブ 田中智子
 植田三枝子 貝元利江 久斗数廣 参天製菓(株) 田中睦子

谷口朝子 名川昭子 廣橋岳登 宮井正三郎 若林節子
 谷口栄 仲里朝之 深津賢一 宮崎茂雄 若松健
 多田博子 棗田瑞代 福田恵太 三輪泰彦 脇田優子
 田野卓也 並川明子 藤美代子 向井弘 渡辺資子
 田野敬尹子 南部和代 藤田幸三 村上七生 渡邊鮑子
 田村甫 西口ひとみ 藤田尚子 村田比良樹 渡辺林
 田村雅宏 仁禮丞二 藤本まり 村原圭伊子 匿名希望の方
 田原義朗 西畑邦子 船岡康子 森榮枝
 辻武義 西村亜歌子 H O Y A(株) 森本克幸
 辻康子 西本善寿 星出美千子 森本芙紗子
 椿雅彦 人形寺祥弘 堀保彦 保田妙子
 辻村かずみ 野田教一 前川佳幸 柳川芳裕
 土井勲 野原きみ彖 正垣裕加子 柳本松野
 土井けい子 バルティスファーマ(株) 正木美弥子 山口千鶴子
 土肥富幸 バイエル薬品(株) 榭井重信 山田末廣
 富田竹治 秦勝次郎 松浦正明 山中時栄
 鳥田明美 橋本紀子 松田和美 山根茂彦
 仲千賀子 長谷川豊秋 松田喜代司 山根みどり
 中井章博 長谷川雅夫 松本一郎 山本節子
 長井孝章 服部二郎 松本雅也 山本禮子
 中井友枝 花田敦子 松本優子 (有)東亜工機
 中路均 馬場市郎 松本米子 長久昌嗣
 中島香織 濱崎光伸 間宮進 雪岡恵津子
 中含義博 浜中保博 三浦行子 柚木倭子
 永瀬操 春木陵人 三木脩 横見ルリ子
 中田哲也 春本幸子 三木達雄 横山和子
 中津貴美子 原崎美智子 水谷恭一 吉澤恵子
 中野末子 阪神道路開発(株) 水谷正子 吉田耕一
 中野正子 東中香代 三谷孝子 吉田英行
 中西よし子 菱川睦美 南原富廣 ライオンズクラブ国際協会
 中村貞彦 平山順子 見野ちよの 335-D地区
 キャビネット

登録について

- ・眼球（角膜）のご提供に**年齢制限はありません**。
- ・**近視、遠視、白内障、緑内障**の方でもご提供いただけます。
- ・登録していただく際に、**検査**などは一切必要ありません。

登録の手順

1. お電話またはメール (info@hyogo-eyebank.or.jp)でお名前ご住所等をお知らせ下さい。眼球提供申込書を送らせて頂きます。



2. お手元に届いた**眼球提供申込書**に必要事項をご記入の上、アイバンクまでご返送下さい。(近親者の欄の記入もお忘れなく)



3. 登録が完了いたしましたら登録カードを送らせて頂きます。財布などに入れて常時ご携帯ください。



*登録の際に頂いた個人情報は厳重に管理させていただいており、アイバンク活動以外の目的に使用することはございません。

万一ご不幸があった時、眼球提供の事を思い出すことは難しいものです。

ご登録いただいている方でもご家族のご理解とご協力が必要です。

登録の際、よくご家族とお話いただき、お互いのご意志をお話ください。

万一ご不幸があった場合には

登録がなくてもご本人の意思・ご家族の承諾によりご提供いただけます。



1. 万一ご不幸があった場合に、献眼を希望される場合はドナーホットライン

年中 無休で **アイをアイを**
0120-69-1010 にご連絡ください

年中無休で24時間コーディネーターが対応させていただきます。



2. コーディネーターがご提供についての説明に伺います。

*説明をお聞きになり、提供を辞退されても全く問題ございません。

*摘出手術が始まるまではいつでも中止することができます。



3. 提供を承諾された場合は眼球提供・採血承諾書を作成し、眼球を提供していただきます。

摘出後は義眼を挿入するのでお顔は提供前とほとんど変わりません。



4. ご提供いただいた角膜による移植手術が行われます。

アイバンクのホームページにもアイバンクの情報、角膜移植医による目のお話など様々な情報を掲載させていただいております。是非一度ご覧頂き、ご活用下さい。

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp>

2021年度 公益財団法人兵庫アイバンク役員

● 顧問 ●

齋藤 元彦
(兵庫県知事)

久元 喜造
(神戸市長)

高士 薫
(株)神戸新聞社
代表取締役社長)

藤堂 勝巳
(公財)兵庫アイバンク
前理事長)

● 理事 ●

理事長
片上 千加子

副理事長
有野 勇
平松 邦夫

常務理事

堀口 清隆

理事

五味 文

三條 真由美

高橋 政代

田村 雅宏

長井 隆行

中島 かおり

中村 誠

橋崎 良治

畑山 裕子

古川 英正

細谷 友雅

● 監事 ●

大石 麻利子

岡田 洋

● 評議員 ●

議長

太田 久之

副議長

山中 弘光

小林 登

小林 寛

高野 文男

瀧北 美智子

原 吉三

福田 恵太

溝上 淳二

森本 克幸

(理事・監事・評議員 役職別五十音順 敬称略)

表題

「クラーリト」は

「透明な光」という意味で、

この「透明な光」を取り戻していただきたい
との願いをこめてつけられました。



公益財団法人兵庫アイバンクだより

「クラーリト」

No.25

発行 2021年10月

発行所 公益財団法人 兵庫アイバンク